



(左から)梶浦課長、川人社長、岩城村長

佐那河内村と災害時協定

エース

アスファルト合材の製造・販売を手掛けるエース（徳島市、川人和久社長）は、徳島県佐那河内村と災害時協定を結んだ。地域貢献の一環で、同社が徳島県内の自治体と協定を結ぶのは初めて。南海トラフ地震や大規

模自然災害によって道路が破損したり、亀裂が生じたりした際、同村の要請に応じて舗装修繕に使うアスファルト合材を提供する。また、発生したアスファルト廃材なども同社プラントで受け入れ、再生骨材として再利用する。

22日に同村役場で開いた締結式には、岩城福治村長や川人社

早期復旧へアス合材を提供

長、NIPPO四国支店の梶浦剛史舗装事業第三グループ課長らが出席した。川人社長は「インフラ復旧の要は、まず道路をつなぐことだ。必要な資材を間違いなく届けるようNIPPOグループで供給体制の強化に取り組んでいく」と述べた。岩城村長は「有事の際はインフラの復旧が大事になる。今回こうした協定を締結したことはありがたい」と期待を寄せた。